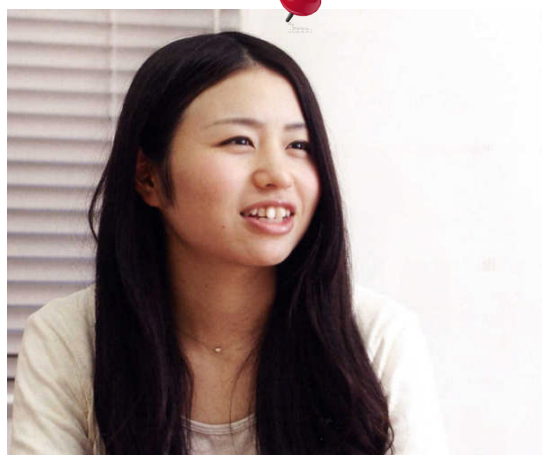


静岡英和学院大学 コミュニティ福祉学科



授業内容のご紹介



夕食は一人で
食べる、自分の
勉強机がない、
絵本を読んでも

余、家庭裁判所調査官を務めた経験をもとに非行をしない、させない育て方を解説した。

非行の予防学

思春期の問題行動から見た幼児期の大切さ



77頁

堅い題名に比して、語り口は温かく優しい。著者は静岡英和学院大教授。30年

佐々木光郎著

「非行の予防学
思春期の問題行動から
見た幼児期の大切さ」

司法福祉論に
関する本を
出しました。

らったことがない—非行に至った中高生の証言からさかのぼって、衣食住など日々の基本的な要素に着目し親世代に注意を促す。「子どもにとってこんなことが大事なのか」と。子どもに寄り添つ視点で、いわゆる非行防止本と一線を画す。自分の気持ちを表現する力や身体作り、学校の役割の重要性にも触れている。

(三学出版、1890円)

司法福祉論 佐々木光郎

犯罪や非行を行ったものに対する
更正保護制度について、
その目的や支援の実際について
理解する授業です。

静岡新聞

<後期高齢者医療制度の是非>

後期高齢者医療制度の概要

後期高齢者医療制度(長寿医療制度)が始まる平成20年(2008年)4月1日以前までは後期高齢者(75歳以上～)の方は「国民健康保険(被用者保険(被扶養者含む)等)+老人保健」から医療を受けられていましたが、老人保健法が廃止され後期高齢者医療制度が始まった事によって自動的に後期高齢者医療制度(長寿医療制度)に移行することとなりました。

ようするに、後期高齢者医療制度(長寿医療制度)の対象者(被保険者)は、「国民健康保険等+旧老人保健制度」から自動的に脱退し(脱退手続き等は不要)、新しい後期高齢者医療制度(長寿医療制度)へ自動的に加入する事となるのです。



◎75歳になった

⇒国民健康保険等から自動的に脱退(手続き等は不要)

⇒後期高齢者医療制度へ自動移行(手続き等は不要)

※いままで病院の窓口では「医療保険証(国民健康保険証・被用者保険証など)+老人医療受給証」の2枚を提示しなければなりませんでした。後期高齢者医療制度で被保険者となる方は「後期高齢者医療被保険者証」1枚を提示すればよくなりました。

～後期高齢者医療制度(長寿医療制度)の概要のポイント～

※後期高齢者医療制度(長寿医療制度)対象者は国民健康保険等を脱退させられ(脱退手続き不要)、自動的に後期高齢者医療へ加入させられます。

※後期高齢者医療制度(長寿医療制度)は独立したもので、各市区町村が加入する各都道府県が設置した「○○県・後期高齢者医療広域連合」が保険者となり、被保険者の資格管理、保険料の算定、医療費支給などの運営を行い、保険料の徴収、被保険者証の引渡しなどの事務手続きは各市区町村が行います(国民健康保険、旧老人保健は各市区町村が保険者でした)。



また交付された「後期高齢者医療被保険者証」を紛失した場合も、各市区町村役場で再発行の手続きを行うなど、被保険者が各種手続きで接する機関は今まで通り各市区町村役場となっているのです。

※後期高齢者医療制度(長寿医療制度)へ加入(自動移行)した場合、従来まで使用していた「老人保健医療受給者証、国民健康保険被保険者証」等は使えなくなり、「後期高齢者医療被保険者証」のみとなります(被保険者番号も変わります)。

2010年1月8日 朝日新聞

後期高齢者医療制度の廃止

七十五歳以上を対象にした「後期高齢者医療制度」。昨年四月に始まる年金引き上げの混乱などが表面化して、「お年寄りに冷たい」と批判を浴びてきた。
長妻昭厚生労働相は



静岡英和学院大教授

佐藤 仁之さん

就任直後に制度廃止を明言し、最近になって「二〇一二年度末まで」との方針を固めた。新制度をつくる検討委員会は月内にも設置する見通しだ。「最も収入が少な...」
「世代を切り離す制度は原理的に合わない」と指摘するのは、静岡英和学院大の佐藤仁之教授。元厚生労働省職員で医療保険制度の専門家だ。制度廃止方針を「70点」と採点した。「最も収入が少な...」
「最少高齢化と不況で、現役世代がこれまで以上の保険料を負担しきれない。」
「少子高齢化と不況で、現役世代がこれまで以上の保険料を負担しきれない。」
「後期高齢者医療制度は内容の理解が難しい。選挙の争点になりにくい。将来に向けて大切な問題です」

70点 代替案で方向性示せ

「代替案を示してから、廃止を明言すべきだった」
これが減点の理由だが、高齢者が保険料を支払うことは、やむを得ない。選挙の争点になり...」

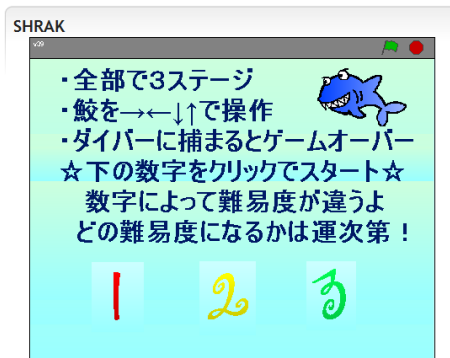
「後期高齢者医療制度は内容の理解が難しい。選挙の争点になりにくい。将来に向けて大切な問題です」

プログラミング（前期Ⅰ、後期Ⅱ）：中原陽三

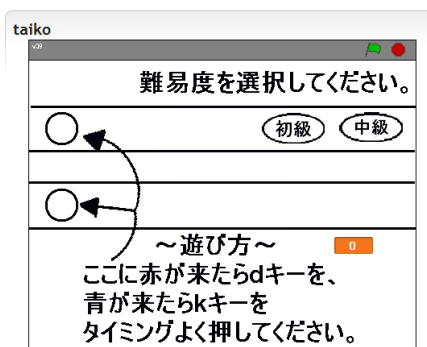
プログラミングⅠでは、UNIX上でのCプログラミングを扱い、Ⅱでは、Javaプログラミングを本来なら扱う。しかし、それまでの受講者の理解度や興味の様子などから、2010年度は予定を途中で変え、「ドリトル」（兼宗進氏作の日本語プログラミング言語）、および「Scratch（スクラッチ）」（MITで開発された教育用プログラミング環境）などを取り上げた。いずれもObject指向プログラミングを行える。

<受講者がスクラッチで作成したゲーム(Scratchの共有サイトにアップ済み)>：

- ① <http://scratch.mit.edu/projects/shirousagi/1597694>



- ② <http://scratch.mit.edu/projects/eiwa-student/1597732>



- ③ <http://scratch.mit.edu/projects/tonnura/1603956>



学生たちは、凝ったゲームを楽しく作成してくれた。③は社会福祉士の国家試験の過去問の一部を題材としている。これらは、サイトにアクセスするだけで楽しくゲームできる。

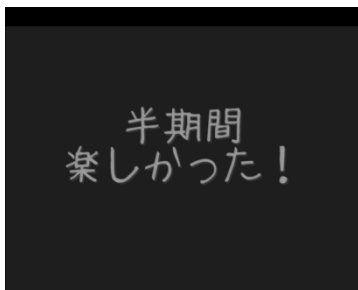
福祉マルチメディア：中原陽三

目的：福祉分野でのコンピュータシステム利用について理解を深めること、および、その中で、持てる力を皆（神と人）のために用いようとする温かい心を養うこと。

授業内容："コンピュータやマルチメディアシステムの、福祉分野における利用技術について解説し、実習する。すなわち、マルチメディアシステムの持つ機能のうち、人に安らぎを与えたり、身体の不自由な方を支援したりする面に特に焦点をあて、日本語音声認識ソフト、目の不自由な方のための Web ブラウザ、点字編集システム、肢体不自由の方向けの意思伝達ソフトウェア、音楽作成ソフト、動画編集ソフトなどについて解説し、Windows 環境で実際に体験する。また、持っている知識や技能を皆のためにどのように用いていけるかを考えることなどで、用いていこうとする心を養う。

<受講者が作成した複数の動画の一部から、それぞれ1コマのみ紹介>

(1)



(2)



(3)



ネットワークリテラシ (1年次通年必修)：中原陽三

一人一台のノートパソコンを用いつつ、ネットワークに接続されたパソコンの基本的使用法を修得する。すなわち、ソフトによってタッチタイピングをマスターし、OS の理解を深めつつ、プログラムの起動や終了方法ならびにファイル操作を修得し、また、学内 LAN に接続して使用しながらメールやインターネットに習熟し、さらにネットワークドライブや、ネットワークプリンタの使用法を修得する。また、各自のホームページを作成し、公開する総合演習を行う。基本的なアプリケーション Word, Excel, ならびに PowerPoint についても学ぶが、Word と Excel は、ある程度知っていることを前提に簡単におさらいするにとどめ、初心者対応は、情報発信演習 I (Word と Excel の初歩を 15 回 (1 回 90 分) でゆっくり学ぶ。1 年次から選択できる前期の科目) で行う。

専門演習Ⅰ・Ⅱ：植田智也

育児問題の源流を探る ～日本社会に於ける「自立」の難しさ～

(1) 「社会的子ども観」の未成熟

子どもは、親のものであると同時に、社会のものである。自分の子どもは社会を支えているし、また他人の子どもによっても自分は支えられている、という大人の意識は、親による子どもの私物化を回避し、社会的養護を充実させる。

(2) 「情緒的自立（子離れ）」の困難

価値観の偏った親、自己愛の満たされない親、自己実現からかけ離れた親等は、自身を受容できないことがあるだろう。たとえば、高学歴の母親は、職業人としての自己実現を子育てのために犠牲にしているという感じをもち、自己を子どもに投影するかもしれない。また、共通一次試験世代の親は、テストの成績により敏感であるかもしれない。そして、「親孝行」を期待する親は、子どもの将来に関心が偏りがちとなる。これらの親は、子どもを私物化し、社会に過剰に適応しようとする。親の自己肯定や自らの生き方に自信をもつことが、それらを回避することになる。

(3) 夫婦が良好な関係性をもつことの難しさ

とりあえず、夫婦が互いを信頼し、助け合うことで、子どもへの不適切な対応の一部は、避けられるだろうか。母子密着が物理的・時間的な夫不在を原因として起こるとすれば、夫婦間の情緒的コミュニケーションをうまく図る方法を探し出す必要があるだろう。しかし、根本的には、現代日本の職業生活が大人に課している長時間労働、職場の付き合いといった過酷な拘束、および「男は外、女は内」というような性別役割分業の意識などが夫婦間の交流を妨げていると考えられるから、これらから解放されることは何より重要であろう。また、子どもにとって、父親の精神的不在に対しては、母親をはじめとする周囲の大人が、よい父親イメージをもたせるよう努めることが大切と考えられる。

(4) 「経済至上主義」（現代社会固有の問題）

経済的に裕福であることが幸福であるという社会一般の価値観は、経済的な効率性や合理性の重視をもたらすようになる。このような社会を支える人材の育成も、学業成績重視の競争主義に陥ることになる。そこから、「教育ママ」の発生、「お受験」、「早期教育」等不適切な子育ての状況が引き起こされてきたのではないか。

しかし、なぜ、私たち大人は社会の価値観に過剰に適応してしまうのだろうか。親の自己受容に、何か問題があるとは考えられないか。

(5) 家父長制の影響（伝統的課題）

「家」制度の特徴は、個人（家族員）の人格よりも「家格」が尊重されることにある。この制度のもとでは、個々の家族員は、「家」の繁栄や存続に関連づけられ、固定された家族内の役割が期待されており、現代的な自己実現は困難と考えられる。伝統社会では、これが職業の世襲制や居住地移動の規制等とあいまり、個人の自由を束縛し、個性を抑圧していたと考えられる。ここから日本人の行動は、大勢に順応し自我をおし殺す習性がつよまることになるが、それは、「諦め」、「孤立への恐れ」、さらには「事態の変化そのものへの忌避」へと発展する、と考えられる。

また、この制度は、身分制や性関係・役割とも連動しており、階級間・階層間の関係、それらの内部の人間関係、そして男女間の関係・役割さえ鋳型にはめ込もうとするものであった。したがって、個人主義的な自己意識や他者への共感、不必要であったのかもしれない。つまり、日本人には自己の内面や人間関係について、洞察する習慣をもっていなかった（身につけることができなかった）とは考えられないか。

家父長制は日本の伝統社会に特有のものではない。市民革命以前のヨーロッパも、都市を除けば家父長制の社会であったといわれる。近代に入っても家父長制の影響がつよく残った日本とより以前にそこから脱却を始めたヨーロッパとの間には、民主主義の歴史に差があるが、この差はどこから生まれたのだろうか。

専門演習 I

コミュニティ福祉学科

永田恵実子

専門演習 I は 3 年生が行うゼミ形式の授業形態です。今年度は、大学が行う地域支援事業、「親子広場」での保育内容全般を永田ゼミの学生が大島ゼミの学生と合流しながら取り仕切ります。

学生みんなでそれぞれの月のテーマを決定し、それに基づいて、①受付（受付で毎回コンシェルジュを行う）担当、②環境（環境設定、環境の整備、安全管理などを行う）担当、③あそび（あそびの内容と季節の制作物を考える）担当の 3 つのグループで子育て支援事業の保育計画を立て実践していきます。

1. 計画

3 つのグループが担当別に分かれて計画書を作成します。図書館での情報収集や、実際の園の様子を調査しながら、具体的に立案をします。そして、保育室内の環境整備や毎月の壁面構成、制作物やあそびの内容保育実技の選択など何度も検討をおこないます。さらに、実践までこぎつけます。



2. 支援の実践

6 月の保育内容の計画

当日のタイムテーブル 6 月案 (前半)

- 10:00 受付
- ☆受付でバッチを受け取る、出席シール
- ☆自由遊び
 - ブロック
 - 車あそび
 - 輪投げ など
- ☆制作コーナー（季節の作品を親子でつくる）
- 10:50 後片づけ



静岡英和学院大学

当日のタイムテーブル 6 月案 (後半)

- 11:00 親子・学生みんなで参加
- ☆アララの呪文 ～はじまりのことば
- ☆てあそび
- ☆6月誕生会 誕生日カード
- ☆エプロンシアター
- ☆大型絵本
- ☆リズムあそび など
- 11:40 おしらせ ～ 終わりのことば
- ☆ランチタイム



静岡英和学院大学

学生たちがそれぞれの担当ごとに分かれて保育計画に基づき実践をします。この保育実践をもとにゼミで検討会を行ないます。全員で改善方法を具体的にいくつも提案し、改善方法は詳しく記録します。その中でどの方法が一番よいか比較検討します。臨機応変な対応が必要だった点は勿論チェックします。

3. 振り返りから次回の計画へ

実践の振り返りを通して、次回の計画で改善を図ります。そして次回の保育実践に生かしていきます。ゼミではこのような計画～実践～振り返りという学習方法を通して、学生自身が学習成果をフードバックしながら、それぞれがぶつかった問題点を整理し、より深く 4 年生の卒業研究で学習していきます。

「人間と教育」

という科目担当しています橋本です。

人間の「脳」は大きいのです。だから、人間は教育が可能で、教育により変わって行ける存在ともいえます。

	誕生時		成人	
	体重 g	脳 g	体重 kg	脳 g
ゴリラ	1500	130	100	430
チンパンジー	1890	130	40 ~75	400
人間	3200	360 ~386	65 ~75	1450
オランウータン	1500	130	75	400

しかし、人間には、適切な時期に適切な教育が必要なようです。教育しないと、人間にはなれないかもしれません。

狼に育てられたのではないかとと言われる子どもの観察記録です。

J. A. L シング『狼に育てられた子』



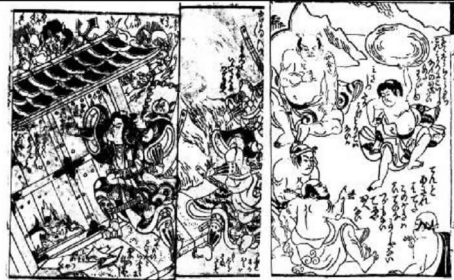
ところで、教育は、社会の変化とともに変わる面もあります。また、「子どもとは〇〇である」という、「子どもに対するイメージ」も、社会や時代によって異なるようです。たとえば、ヨーロッパの中世では、子どもは「小さな大人」でした。

1195年頃の「嬰兒虐殺」という絵ですが、「嬰兒」といいながらも、そこには、筋骨隆々のたくましい男たちが、ただたんに、小さく描かれているだけです。



「桃太郎」だって、江戸時代は、こんなにたくましく描かれていました。

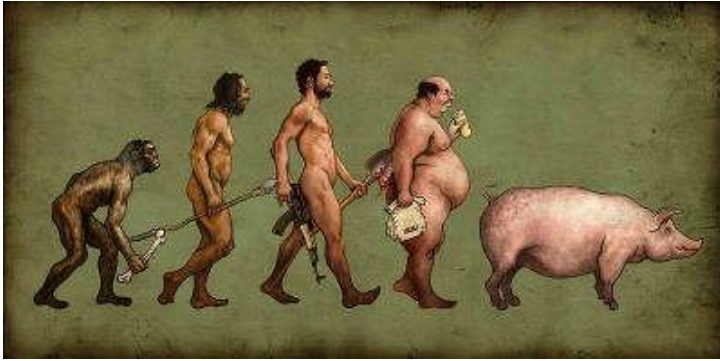
鬼の城の門を素手で破壊している桃太郎（左）と、うぶ湯のたらいを回している、生まれて間もない桃太郎（右）滑川道夫『桃太郎の変容』



人間に対する教育の可能性は大きいのですが、これからは、どのような子どもの姿を理想として描き、どのような教育を行っていけばよいのか、考えてみましょう。

健康余暇論：鍋谷 照

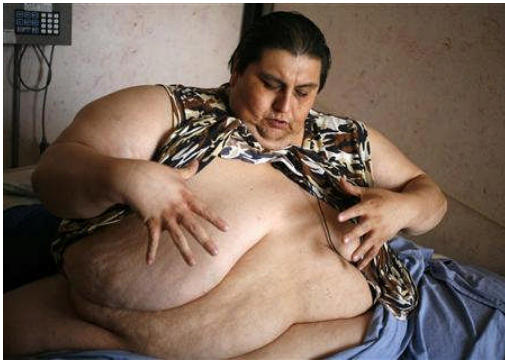
この授業では、健康や体力の維持増進に関わる、幅広い知識を修得することを目的としています。



現代人は、科学技術の進歩と共に余暇時間を手にすることができるようになりました。今は何をしても自分の身体は動かさなくとも構いません。すべて機械がやってくれるのです。だから、今回の東日本大震災に関わる計画停電で、す

ごくあわててしまいました。私たちは科学文明のある社会が当たり前になっています。

ところが、人間の身体は科学技術の進歩と歩調を合わせることができません。なぜなら、



依然として私たちの身体は狩猟採集民族のままだからです。僕たちの身体は、お猿さんとの共通祖先から別れて人間として進化し続け、二足歩行を手に入れました。二足歩行を行っていた私たちのご先祖様は700万年前に遡ります。僕たちはそ

の位長い時間をかけて、今の人間の姿形を手に入れているのです。ところが、科学技術の進歩は、僕たちに便利さを与えてくれると同時に、ヒトとしてアンバランスな

状態に陥れたのです。現代人における身体と環境との不均衡な状態とは、例え

ば肥満です。過度な肥満は、ヒトという生物本来の身体的状況にとって極めて危険な状態をもたらしています。

先進国では、胃袋の上にシリコンのバンドを着けて体重制限に役立terるとい手術が流行っています。発展途上国では食べることも出来ない人がいるのに・・・。

この授業では、現代人の健康問題をヒトの進化・適応のレベルから考え、利便性の高い現代生活の中で、健康に過ごすための一方略である身体活動の効用をみんなで考えます。





生活

Q M字型就労 日本女性の年齢別労働力率にみると、25歳で第1のピークとなり、結婚出産する30代には離職で落ち込む。子育てが一段落した後にパート・アルバイトなどで40歳前後から再び労働率は高まり、M字型曲線を描く。各国と比較すると、出生率が低い日本や韓国でM字型が見られるが、就労を継続する北欧やフランスなどは台形を描く傾向にある。

SWOSの会 結婚観調査

M字型就労解消にまだ時間

県内大学生の大半が結婚を望み、子どもを持ちたいと考えている。男女共同参画に向けた活動に取り組む「SWOSの会」(大川律子会長)が結婚観や子育て観についての大規模なアンケート調査を行った。

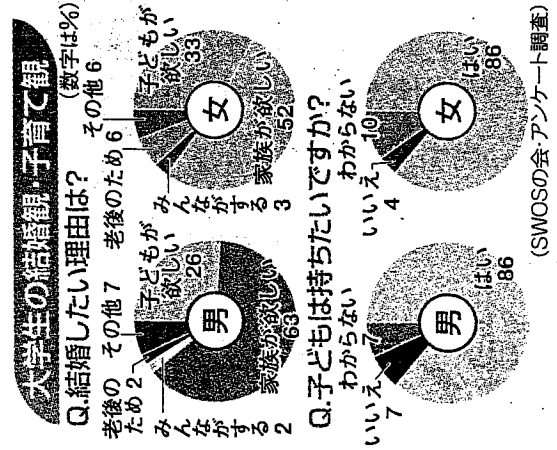
同会は少子化が進む中、これから社会に出る若者の意識を知りたいと、県内13大学に通う男女1000人に昨年10・12月、結婚や子育て、男女共同参画について聞いた。

「結婚したい」と答えたのは男子77%、女子85%。理由として「家族が欲しい」(男子63%、女子52%)「子どもが欲しい」(男子26%、女子33%)が大部分を占めた。「子どもを持ちたいか」という質問には、男女ともに86%が「持ちたい」と答えている。

同会は共同研究を行っている静岡英和学院大志田倫子准教授のゼミ生とのほど報告会を開いた。昨年12月に内閣府が発表した世論調査で「子どもは必要ない」と答えた人が過去最高の42.8%に上った結果と照らし、また集社会も動いていない学生の理想の表れと分析した。



県内大学生の結婚観、子育て観を聞いたアンケートの結果について、意見交換するSWOSの会メンバーと学生。静岡市駿河区の静岡英和学院大。



県内大学生の結婚観、子ども望む

「専念」は男子が63%、女子71%と高い割合を示した。

報告会では「仕事は続けたいが、子育てにも専念したい」と学生に両方の思いがある」と考える意見が相次ぎ、志田准教授は「子どもが小さいうちに母親が自分で育たいと思う意識が強い」とし、「(少子化問題の根底にある)『M字型就労』の解消にはまだまだ時間がかかるとも説明した。

「男女共同参画」の認知度を問う質問では、「知っている」と答えた人が男子83%、女子85%と回答した。大川

会長は「男女共同参画社会基本法が施行されて10年、学校でも学んできた世代で『知らない』学生がいることは大きな課題」と取り上げた。

子育て支援については、学生が地域との連携を望んでいる声が多かった点に、同会の倉は「意外だったが、地域の役割を

あらためて見直す機会になれば」と期待する。志田准教授も「子育て支援策は一つずつきめ細かく整えていく必要がある」と指摘した。

同会はアンケート結果をさらに分析し、報告書にまとめる予定。

授業紹介 「家族社会学」 地域福祉学科 志田 倫子

「家族社会学」では、現代家族の問題をアンケート調査の結果などから浮き彫りにして、現状を把握します。このような「大学生の結婚観・子育て観」のアンケート結果の分析からも見えてくるものがあります。

静岡県の大学生は意外と保守的です…

(2010年2月8日 静岡新聞 夕刊4面に掲載)

相談援助演習：狩野 晴子

この授業は・・・

■社会福祉士に求められる相談援助のための知識と技術を学びます。(例：コミュニケーションの技法、面接技法の習得、支援計画の作成など)

■20名以下の小グループで行われます。

■受動的に講義を聴くのではなく、学生自身が主体的にプログラムに参加し、そこで得られた体験を重視する授業です。

⇒「面接技法の習得」の様子を見てみましょう。

①事例1（不適切な面接の例）を読んで、この先生の対応はどのようところが不適切なのか、またそれはなぜかを考えます。

事例1【小学校4年生の男児と女の先生の会話】

先生：ちょっと山田君、聞いたわよ。オネシヨするんだって？

少年：ええっ！誰がそんなこと言ったんですか？

先生：お母さんからよ。どうして黙ってたのよ？先生はあなたたちの相談にのるからっていつてるでしょ。

少年：はい…。 （以下続く）

②自分たちで良い例を考え、面接場面を演じます（ロールプレイ）。



③その様子を面接場面を動画で撮影



④動画を見ながら、面接技法のチェック

⑤反省点を活かして、2回目のロールプレイ



⑥2回目のチェック、話し合い

どんな印象をもったか、良くなった点はどこか、先生役、生徒役お互いの立場から話し合います。



⑦自分の動画を見ながら逐語訳の作成



⑧望ましい面接の例を提示

【事例1と同じ小学校4年生の男児と女の先生の会話】

先生：どうしたの？最近、元気がないみたいだね？

少年：はい。 何でもありません。

先生：あ、そう。ならいいけど…あんまり元気がないみたいに見えるからね。

少年：うん。…ちょっと。

先生：うん、ちょっと？

少年：ええ、あのう…。

先生：うん。なんか言いにくいことがあるみたいだね。

少年：ええ、…実は僕、…あのう…。 （以下続く）

どんなところが援助的、効果的でしたか？自分たちの面接とどこがどう違ったのかについて検討しましょう

⑨まとめのレポートの作成

- 自分のコミュニケーションの傾向を把握する
- 面接で聞き出せたこと、聞き出せなかったことは何か
- 援助者として望ましいコミュニケーション及び面接とは、どうあるべきか
- コミュニケーション及び面接技術について、今後自分が課題とするべきことは何か

自分自身の面接場面を振り返りて考察を行います。また、これらの過程を通して面接技法を身につけます。

保育内容ことばⅠ：鈴木幸子

この授業では、子どもの言葉の獲得について、ことばの発達を学び、幼稚園の先生や保育園の保育士として言葉の獲得を助ける環境などについて考えることを目的としています。

幼い子どものころから親しんでいる絵本。

絵本を大人と読むことは子どもにとってどのようにいいものなのでしょうか。

絵本場面のやりとり



大人：「見て！」と絵を指さす
子ども：指さされた絵をみる
大人：「これなに？」
子ども：「ぞうさんだ。」
大人：「そうね。」

絵本を読む時の進み方は、だいたい上記のように読まれていることが分かっています。

2人のやりとりを分析してみると、

注意喚起(見て) → 質問(これなに) → ラベリング(ぞうさんだ) → フィードバック(そうね)
となっていて、この**順序が入れ換わることなく、何度も繰り返されています。**

- ・この順序が決まっているやりとりが繰り返されることで、こどもは言葉がよく分からなくても相手がどのようなことを言いたいのか、だいたい分かります。
- ・また、大人が質問した後、子どもがラベリングを上手くいえない場合(ぞ・さん)は、大人はフィードバックで「ぞうさんね」などと子どもの言語能力に合わせて内容を調整します。

このように絵本を大人と読むことは、

★ことばの獲得がしやすくなるのです。 ★社会的なやりとりの仕方を学んでいきます。

他にも、大好きな保育士や幼稚園の先生の声をきいたり、ひざにのったりして絵本を読んでもらうことは、子どもが安心して、子どもと大人の信頼関係をつくることにもつながっていきます。



社会福祉援助技術総論Ⅰ、社会福祉援助技術総論Ⅱ

岡部 真智子

この講義では、お年寄りや障害をもつ人や子どもなどで何らかの問題を抱える人や、ホームレスや非行少年、外国人など生活するうえで困難を抱えやすい状況にある人に対する相談支援の方法の基本的や対応するそれぞれの分野の専門職について学びます。



介護が必要なお年寄りのお世話をする家族の方が、親戚の結婚式に参加したいと思ったら、その間、お年寄りの世話を誰かに代わってもらわなければなりません。

介護を直接行うのは、ヘルパーさんや介護のスタッフの方だとしても、ではその相談をどこにすればよいのでしょうか。

子どもに障害が見つかり、これからどのように育てていけばよいのか、学校はどうしたらよいのか……。

そうした問題で困っている家族の力になってくれるのはどのような専門職でしょう。また、その専門職には、どこに行けば会えるのでしょうか。



私が行うこの講義では、学生にはソーシャルワーカー（相談援助の専門職）としての意識をもって授業に臨むよう伝えていきます。専門的な知識を身につけることはもちろん、相談援助のプロとしての姿勢を身につけてほしいと思っています。

一人では解決が難しい問題を持っている人と一緒になって問題解決をしていく、それがソーシャルワーカーです。その人のために何かをしてあげるのではなく、その人自身が力をつけて、自分の力で問題解決ができるよう支援していく。

相談援助に必要なのは「暖かい心と冷静な頭脳」なのです。

社会福祉援助技術論Ⅰ（基礎）、（応用）、社会福祉援助技術論Ⅱ

岡部 真智子

この講義では、社会福祉援助の実際の流れを理解し、それに必要な知識や技術を学びます。また、対人サービスの基本であるコミュニケーションや円滑な人間関係の形成の仕方について学習します。



初めて会ったときに悪い印象を持たれないためには、どうしたらよいかわかりますか？

ソーシャルワーカーは、クライアント（相談したい人）と一緒に問題解決を進めていくためには、まず信頼関係を築かなければなりません。そのためには、「傾聴（けいちょう）」や「共感」の姿勢で、クライアントの話をじっくりと聞きます。では、具体的にどうすれば「傾聴」や「共感」ができるのでしょうか。

まず、座る場所が大切です。真正面に座ったほうが、話がよく聞けると思うかもしれませんが、それでは相手に威圧感を与えてしまいます。

また、相手の目をじっと見る、というのも、相手が話しにくくなってしまいます。少し斜め前に座って、相手の顔を見たり、視線を外しながら、話を聞きます。

話を聞く時には自分が話しすぎずに、うなずきながら、「あなたの話をきちんと聞いていますよ」というメッセージを伝えます。



たくさんの法律や制度、サービスを知っていることは大切なことですが、それを紹介だけで相談援助ができるわけではありません。まず、相手もっている力を信じ、それをどれだけ強めたり、伸ばしていけるかを考えることから始めます。

この講義では、実際にどのような方法をつかって援助を進めていくか、これまでの実践から考えられてきた方法を学びながら、自分の力に変えていくことを目標としています。一人ひとりが自分らしい生活を送ることができるよう、生活全体をとらえて支援していく、それがソーシャルワーカーの仕事です。